

作者の花房芳洲(1905~1975)は、本市庄内町に生まれました。京都の美術学校で日本画を学び、卒業後は市内の小学校や鹿児島県内の高校で熱心に後進を指導し、当時洋画が盛んだった鹿児島で日本画の魅力を伝えました。

本作は、旧都城市の岩橋辰也元市長から美術館に寄贈されたものです。桜の白い花とつばみが点々と描かれた画面を枝と幹が斜めに横切る大胆な構図は、華やかで洗練された印象を与えます。薄くのせた絵の具が花びらの柔らかな質感を表現し、軽やかに飛ぶ雀の羽根は細部まで入念に描かれていて、花鳥画を得意とする作者の細やかな筆遣いが際立つ作品となっています。

※本作は3月12日(火)から5月6日(月)まで開催する収蔵作品展「センス・オブ・ワンダー」で展示予定

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447

## 「桜に雀」

花房 芳洲 作 (制作年不明)



## History exploration | 歴史探訪!

### 築池地下式横穴墓群出土と伝わる須恵器

写真の土器は、築池地下式横穴墓(下水流町)出土と伝わる、約1600年前の古墳時代に作られた陶質の土器(須恵器)です。

出土した須恵器には、壺を乗せるための大きな台(器台)やマグカップに似た容器(把手付碗)、脚がついた皿(高坏)があり、いずれも日本で須恵器生産が始まったころに作られたものです。

把手付碗と右の高坏は韓国南部で出土した5世紀初期の陶質土器と酷似している一方、器台と左の高坏は愛媛県にあった市場南組窯系の須恵器と酷似していて、それぞれの地域で作られた可能性があります。

このような初期の須恵器が南九州で発見された例は多くありません。このため本資料により、古墳時代に地域間で交流があったことがわかります。

※本資料は常設展で展示しています



◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547

尊朝法親王書状写  
「殊に唐墨種々盛かに到来し候、懇意の儀謝し難く候」(原文漢文)とあり、北郷時久が贈った交易品の品々に対する礼が記されている。

## 「尊朝法親王書状写(唐墨到来の礼)」

本史料は、能書家として名高い尊朝法親王が戦国時代に都城島津家10代当主北郷時久に宛てた書状の写しです。本書状には、時久から贈られた中国製の墨である唐墨などの品々に対する礼が記されています。

当時の都城島津家は、島津本家の九州制覇に協力して動いていた時期で、時久も多くの合戦に参加していました。一方で、時久は尊朝法親王から書を学び、蹴鞠や和歌の素養を身に付け、その道に通じた公家らから免状を授与されるなど、文化的活動も熱心に行っていました。この背景には、京都周辺の情報を得る目的があったと推察されます。また、これらの活動に唐墨などの交易品が重宝されたことや、時久がその入手ルートを確保していたことがうかがえることから、本史料は当時の都城島津家の動向を研究する上でも重要な史料といえます。

※都城島津伝承館は、展示設備改修のため3月15日(金)まで臨時休館しています

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎23-2116



遠武憲明代表取締役

明治34年の創業以来、伝統と革新あるお菓子を作り続けている株式会社お菓子の昭栄堂。この由緒ある菓子店の4代目が遠武憲明代表取締役です。遠武代表は先代までの地域密着のお菓子づくりに加えて全国への出荷に注力。全国出荷が8割を占めるほど成長しています。全国からの受注に対応するため、平成28年に2店舗目となる曾於店をオープンし、職人による手作りの工場と計画的に生産する機械化の工場に分けました。遠武代表は、自身の修業時代

また、創業時から地域貢献活動にも尽力している同社。13年前から行っている「1歳の誕生日ケーキ無料プレゼント」では、これまで1万人以上の子どもにケーキをプレゼントしてきました。若い世代にも来店してほしい思いから開始した本取り組み。遠武代表は「都城圏域で生まれ育っていく子どもをお祝いすること、地元への恩返しの一つ。これからも続けていきたい」と力を込めていました。

の経験から「働きやすい環境を整備し、菓子業界が過酷な労働環境というイメージを払拭したかった」と話します。同社では、安定した全国出荷の一方で、店舗の定休日や働きやすい職場環境づくりを進めてきました。その取り組みにより、子育て世代の女性従業員も多く、離職率も低くなっています。



機械化で人気商品も安定した出荷が可能

Corporate Power

都城をけん引する企業を紹介

# 企業の力

Vol.42

株式会社  
お菓子の昭栄堂

☎22-4318

## 今月の読者プレゼント



※写真はサーロイン

天空牛のステーキ2枚入り 3人  
(サーロインまたはリブロース)

プレゼント提供事業者

おおがた牧場(御池町5844-47) ☎33-2696

都城牛を世界に発信しようとハラル認証取得にも取り組む本牧場。標高530mの大自然の中で育てた天空牛は、あっさりとした食べやすさが特徴です。ぜひ堪能ください。※市内取扱店舗で受取可能な人に限ります

### プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名、電話番号と、3月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

- ◎応募締め切り 3月31日(日) 当日消印有効
- ◎当選者発表 本紙5月号
- ◎1月号当選者 上田祥子さん ほか4人
- ◎1月号応募総数 134通

※市公式LINEとお友だちの人は、プレゼントボタンから応募できます

POST CARD

63円切手を  
お貼りください

8 8 5 8 5 5 5

## 都城市役所 秘書広報課 行

(広報都城 No.219 2024年3月号)

フリガナ

氏名

ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合は、イニシャルで表示させていただきます

住所 □□□□□□

電話番号 ( ) -

▶点線に沿ってお切りください(郵便はがきでも可)

# 私の夢

宇澤 瑛さん 志和池小6年

活躍して得たものを困っている人のために使えるプロテニスプレーヤーになりたい！



## 都 城市 現 住 人 口

令和6年2月1日現在	前月比	前年比
世帯数 72612世帯	(73)	(795)
人口総数 158575人	(109)	(49)
男 性 74586人	(57)	(51)
女 性 83989人	(52)	(-2)

※令和2年国勢調査に基づく推計人口



スマートフォンからも統計情報を確認できます。

## 編集後記

広報都城が4年連続で県広報コンクール特選に選ばれました。作成した全ての広報紙が愛おしい中、特選受賞の4冊は読者の心に響く記事を目指し、一緒に取材を行った“かけがえのない仲間たち”との思い出が数多く詰まっていて特に愛着があります。作り手の思いが伝わる広報紙。今後も皆さんに届けられるよう励みます。(博)

元日に起きた能登半島地震。自然災害はある日突然私たちの日常生活を奪っていくのだとテレビや新聞の報道を通して改めて気付かされました。本紙では毎年、災害の備えの特集を適宜掲載しています(本号9ページ参照)。防災意識が高まったタイミングを逃さず、ぜひ日頃の備えを見直すきっかけにしたいと思います。(つ)

広報担当になり、もうすぐ1年。それまでカメラとは無縁で、重量感ある一眼レフカメラを初めて手にしたときは「絶対落とさないように…!」と緊張したことを覚えています。いまだに、取材の相棒であるはずのカメラに悪戦苦闘し勉強の日々。かけがえのない瞬間を切り取って皆さんへお届けするやりがいを胸に、まい進みます!(未)

# 都城フィロソフィ<sup>23</sup>

◎問い合わせ フィロソフィ推進課 ☎23-7163

第2部 素晴らしい都城市とするために

第3章 燃える集団となる

## 成し遂げるまで諦めない

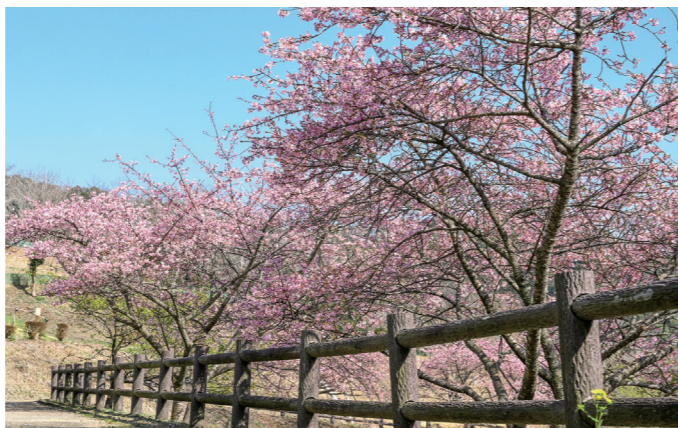
何かを成し遂げるかどうかは、その人の持っている熱意と執念に深く関わっています。何をやっても成し遂げられない人には、熱意と執念が欠けています。体裁の良い理由を探し、自分を慰め、すぐ諦めてしまうのです。

一度諦めてしまうと、諦めることに慣れてしまい、多くのものを失ってしまいます。

目標を設定したら、一步一步着実に進んでいくことしかできません。手詰まりの局面であるように見えても、地道に努力を積み重ね、精一杯取り組むことで見えてくるものがあります。

物事を成し遂げるには、自分に厳しく、目標達成に向かって、粘り強く最後まで諦めずにやり抜く姿勢が必要です。

## 届けたい都城の風景



「高崎総合公園」(高崎町大牟田)



「母智丘公園くまそ広場のさくらねこ」(関之尾町)

令和4年11月に東町の住宅街に誕生したアートスポット「アンモナイトギャラリー」を知っていますか。本ギャラリーは、共同アトリエ「美術研究所『東町工場』」に隣接する展示スペースです。アトリエは市立美術館の元学芸員である原田正俊さんと地元の芸術家らが運営。本市および三股町在住の5人が創作活動を行っていて、3月に東京・上野の森美術館で開催されるVOCA展に作品を出品する今注目の『しまうちみか』さんもメンバーの一人です。ギャラリーでは、アトリエで活動する芸術家の作品展などをこれまで10回開催。展示販売も行って、気に入った作品を購入して自宅やオフィスに飾ることができます。今回の作品展は5月頃を予定。本ギャラリーで、アートとの出会いを

アート作品に触れよう!



観光地や遊び場、イベント、グルメスポットなど、市内で楽しめる場所・モノ・コトを紹介!

アートスポットで幸せ上々

◎問い合わせ アンモナイトギャラリー  
✉ ammonite@mcma.sakura.ne.jp



ギャラリー入口。メンバー考案のロゴマーク入り看板が目印です。

今年1・2月に開催したAmmonite Annual展の様子。個性的な作品が並んでいました。

楽しみましょう。  
「アンモナイトギャラリーの概要」  
●営業時間 作品展会期中の木曜日 12時～18時  
●住所 東町17-5  
※ギャラリーのホームページでは、作品展のスケジュールやギャラリーができるまでのリノベーションの様子などが紹介されています



## 新刊紹介

おすすめ図書 ◎問い合わせ  
市立図書館 ☎22-0239  
高城図書館 ☎58-4224



まく!まく?

市原淳(著)、創元社(出版)

「かける」「まく」「あつい」など同じ読み方でも意味が違う言葉(同音異義語)を集めた絵本。文章がリズムカルで、聞くのも読むのも楽しい一冊です。二次元コードを読み込むと朗読動画を視聴できます。



〈標本〉の発見 科博コレクションから

国立科学博物館(編著)、国書刊行会(出版)

幻となった生物や絶滅寸前種からリビングコレクションまで、約500万点の標本を保有する国立科学博物館。その中から厳選した標本をそれぞれのストーリーを添えて美しいカラー図版で紹介しています。

【市立図書館】 ●休館日/なし  
●開館時間/9:00～21:00

【高城図書館】 ●休館日/3月5日・12日・17日・19日・20日・26日、4月2日・9日・16日  
●開館時間/9:30～18:00

## まちなか de わくわく

ドキュメンタリー映画「中村地平」完成試写会(無料)



「北の太宰、南の地平」といわれ芥川賞候補にもなった小説家・中村地平。台湾や東京での学生生活を経て文壇デビューしたものの、戦後は地元・宮崎で文化の復興や地方創生に身を捧げました。その足跡をたどる本作を観に、ぜひ来館ください。

■日時・場所

3/24(日)	①10時～、②14時～	市立図書館
3/25(月)	①10時～、②14時～	高城生涯学習センター

※要申し込み。両日とも②終了後、小松孝英監督によるトークイベントを開催

◎問い合わせ 市立図書館 ☎22-0239